Allied Telesis

CentreCOM® 9606SX/SC リリースノート

この度は、CentreCOM 9606SX/SC をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1　ソフトウェアバージョン　2.2.2 pl10(2.2.2-10)

2　未サポート機能

以下の項目は付属のユーザーマニュアル、またはコマンドリファレンスに記述がありますが、本製品ではサポート対象外となっていますので、あらかじめご了承ください。

- □ IP ヘルパー(UDP ブロードキャストヘルパー)
- □ 認証サーバー(RADIUS/TACACS)
- □ NTP
- □ Web インターフェース
- □ VLAN リレー
- □ GVRP
- □ QoS
- □ プロキシー ARP
- □ ポリシーフィルター
- □ プライオリティーフィルター
- □ IP ルートフィルター
- □ TRACE コマンド
- □ FINGER コマンド
- □ IPX ルーティング(AT-FL-03)
- □ AppleTalk ルーティング(AT-FL-03)
- □ PIM(AT-FL-03)

3　AT-FL-02/AT-FL-03 について

オプション(別売)のフィーチャーライセンス「AT-FL-02」と「AT-FL-03」によって提供される機能は、それぞれ以下のとおりです。

ファイアウォールライセンス「AT-FL-02」

- □ ファイアウォール(ステートフルインスペクション)
- □ アクセス制御(ファイアウォールポリシールール)
- □ 攻撃検出機能
- □ アドレス / ポート変換(NAT/ENAT)機能

フルレイヤー 3 ライセンス「AT-FL-03」

- □ IGMP
- □ DVMRP

4 本バージョンでの制限事項

4.1 SNMP MIB オブジェクトについて

参照「ユーザーマニュアル」5-11 ～ 5-13 ページ

SNMP の MIB オブジェクトについて、以下のような制限があります。

- □ MIB II オブジェクト［ipNetToMediaPhysAddress］に正しい値がセットされていません。
- □ ブリッジ MIB オブジェクト［dot1dStpPriority］に正しい値がセットされていません。
- □ ブリッジ MIB オブジェクト［dot1dBaseType］に正しい値がセットされていません。
- □ ブリッジ MIB オブジェクト［dot3StatsFrameTooLongs］が正しくカウントアップされません。

4.2 VLAN 間の IP ルーティングの無効設定について

参照「ユーザーマニュアル」4-4 ページ

VLAN 間の IP ルーティングを行わないようにする場合は、複数の VLAN インターフェースに IP アドレスを設定しないようにしてください。（SNMPなどのマネージメントが必要な場合は、マネージメントを行う VLAN に対してのみ IP アドレスを設定します。）
DISABLE IP FORWARDING コマンドは使用しないでください。

4.3 ソフトウェア IP フィルターについて

- □ 特定のホストからのICMPエコーリクエストを拒否（その他のプロトコルは許可）するという設定を行った場合、他のVLAN配下に接続された端末から、この特定のホストに対して Ping を実行すると、フィルターの設定が無効となります。

- □ SHOW IP FILTER コマンドで表示される Matches パラメーターにおいて、ユーザープライオリティの設定条件に該当するパケットが正しくカウントされません。

4.4 ポートトランキングとタグ VLAN の併用について

ポートトランキングとタグ VLAN（タグ付きポート）を同一ポートに設定することはできません。

4.5 ポートトランキングとスパニングツリーの併用について

ポートトランキングとスパニングツリーを同一ポートに設定することはできません。

4.6 ハードウェア IP フィルターについて

参照「ユーザーマニュアル」4-39 ～ 4-40 ページ

□ ADD SWITCH L3FILTER ENTRY コマンドで、TCPACK パラメーターに FALSE を指定した場合、パラメーター値を設定ファイルに保存することができません。

□ EMPORT/EPORTパラメーターで、フィルタリングを行うイーグレス(出力)ポートを特定した場合、該当ポート以外のポートにおいて、ARPのアドレス解決が行われていない端末に対する通信ができなくなる場合があります。

4.7 不明な MAC アドレス登録について

参照「ユーザーマニュアル」3-41 ページ

パケットの種類に関係なく、パケットの受信中に本体を起動すると、FDBに不明なMACアドレスが登録される場合があります。

4.8 エージングについて

参照「ユーザーマニュアル」3-43 ページ

1回目のエージアウトですべてのダイナミックエントリーがFDBから削除されない場合があります。ただし、2 回目以降のエージアウトではすべてのダイナミックエントリーが削除されます。

4.9 DHCP レンジの表示について

参照「ユーザーマニュアル」5-5 ページ

クライアントに割り当てていた IP アドレスを回収した場合、SHOW DHCP RANGE コマンドの表示項目 Free Address(未使用の IP アドレス一覧)に、該当の IP アドレスが重複して表示される場合があります。

4.10 ポートの統計情報「ifOutErrors」の表示について

マルチキャストパケットを受信すると、SHOW SWITCH PORT COUNTER コマンドで表示される ifOutErrors が受信ポートでカウントされる場合があります。

4.11 IGMP(AT-FL-03)について

□ 本体の起動(再起動)後 125 秒間は、クエリーメッセージが送信されません。

□ IGMP タイマーの Other Query Present Interval の値を変更することができません。

□ IGMP パケットをタグ付きポートから出力した場合、タグ無しパケットとして送信されます。

□ IGMP パケットに対してハードウェア IP フィルターを適用することができません。

5 マニュアルの補足・誤記訂正

5.1 FAULT LED について

参照「ユーザーマニュアル」1-9, 6-5, 6-18ページ

本体前面FAULT LED(赤)の点滅の表示内容に誤りがありましたので、以下のとおり訂正してお詫びいたします。

LED	色	状態	表示内容
FAULT	赤	点灯	本体、または内蔵ソフトウェアが故障しています。
		点滅	1回点滅： ファンに障害があります。 3回点滅： リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」のDC電源ケーブルが接続されていて、本体の電源ユニットに異常があります。 4回点滅： SET SYSTEM RPSMONITORコマンドでONが指定されていて、リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」の電源ユニットに異常があります。 5回点滅： SET SYSTEM RPSMONITORコマンドでONが指定されていて、リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」のDC電源ケーブルが接続されていていません。
		消灯	システムに異常はありません。

5.2 ポートトランキングについて

参照「ユーザーマニュアル」3-7 ～ 3-10 ページ

□ フラッディングされたパケットの送信ポートには、トランクグループ内でリンクが一番最初に確立したポートが使用されます。

□ ポートトランキングと VLAN 間 IP ルーティングを併用した場合、ルーティングされたパケットに対して冗長機能は動作しますが、負荷分散は行われません。

5.3 フローコントロール(IEEE802.3x PAUSE)について

参照「ユーザーマニュアル」3-6 ページ

「ユーザーマニュアル」3-6ページにフローコントロールについての説明がありますが、本製品のフローコントロール(IEEE802.3x PAUSE)は、PAUSEフレームの受信のみをサポートしています。「バッファーメモリーを監視し、空きが減少してくるとPAUSEフレームを送出する」という動作は行いませんので、訂正してお詫びいたします。
PAUSEフレームを受信した場合は、PAUSEフレームの送信元である接続機器に対して送信を一時的に停止し、フロー制御を行います。
なお、本製品は Half Duplex での通信はサポートしていません。